

報道関係各位

ESD 成蹊フォーラム 2016「武蔵野の自然と成蹊の学び」のご案内  
～持続可能な社会の担い手の育成と武蔵野地域の気候環境について考える～

■日時:2016年3月26日(土) 13:00~16:00

■会場:成蹊大学4号館(東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)

学校法人成蹊学園(東京都武蔵野市)では、来る3月26日(土)13時より成蹊学園4号館にてESD 成蹊フォーラム 2016「武蔵野の自然と成蹊の学び」を開催いたします。

本学園では、「知的好奇心でつながるワンキャンパス」を一貫教育のテーマに、学校間の連携を活かした様々な教育・研究活動を実施して参りました。なかでも、自然観察や園芸教育など自然と向き合い、本物に触れる教育を伝統的に重視してきました。近年では、学園をあげて環境教育に取り組み、ESD\*の理念にも通じる、持続可能な社会の担い手を育む教育を実践しています。

当フォーラムでは、本学園が小学校、中学・高等学校、大学で取り組んできた環境教育や自然教育の成果をご報告させていただくとともに、本年開設90周年を迎える成蹊気象観測所が戦前から観測し続けてきた気象変動の動向等について、歴代の所長ならびに首都大学 三上岳彦名誉教授にご講演いただきます。

本学園では、これからも地域との連携を大切にしながら、環境保全のための教育・研究の充実に取り組んで参ります。

\*ESD:「Education for Sustainable Development」の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されます。90年代前半から提唱されてきましたが、2002年の国連第57回総会でユネスコが主導機関とされ、現在、世界各国でESDの理念にのっとった教育が行われています。

## 記

- 【名称】 ESD 成蹊フォーラム 2016「武蔵野の自然と成蹊の学び」  
【URL】 <http://new.seikei.ac.jp/gakuen/topics/esd2016.html>  
【日時/会場】 2016年3月26日(土) 13:00~16:00 成蹊大学4号館  
【主催/後援】 主催:学校法人成蹊学園 後援:武蔵野市  
【対象】 学園関係者をはじめ一般の方のご参加も可能 事前申込み不要  
【プログラム】

## □13:00~第一部:「持続可能な社会づくりのための成蹊学園の学び」

小学校の栽培活動をはじめ、大学 学生環境委員会「桃球」、学生ボランティア本部「Uni」の活動まで、学園の環境や地域に関わる取り組みのご報告

コメンテーター: 群護氏 (武蔵野市環境部長)

小金澤孝昭氏 (宮城教育大学教授 国連大学サステナビリティ高等研究所客員教授)

## □14:45~第二部:「成蹊気象観測所の90年と武蔵野気候環境変化」

講演1: 「成蹊気象観測所90年の歩み」

宮下敦氏 (成蹊高等学校教諭、気象観測所所長)

講演2: 「成蹊中高の理科教育と成蹊気象観測所～成蹊環境教育の礎はなにか?」

倉茂好匡氏 (滋賀県立大学副所長、前成蹊気象観測所所長)

講演3: 「変わりゆく東京・武蔵野の気候環境」

三上岳彦氏 (首都大学名誉教授)

以上

本件に関するお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 [E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp](mailto:koho@jim.seikei.ac.jp)